

## ii) 3つの柱

# 1000億円の人づくり

## 未来を担う人づくり

### ◆こどもの意見を反映した「こども計画」を策定 (2,400万円)

- ・こども施策を総合的に推進する「こども計画」にこどもや若者の意見を反映させるため、ワークショップや新たに構築するポータルサイト上で意見聴取を実施

### ◆こどもたちに文化芸術の鑑賞・体験機会を提供 (600万円)

- ・こどもたちが文化芸術に触れる契機となるよう、劇団員や音楽家などを小・中・特別支援学校や小児医療施設等へ派遣
- ・こども向けオペラや演劇などの鑑賞・体験の機会を提供する文化団体の取組を支援

### ◆県立高校における教育の充実(4,500万円)

- ・お金に関する商品やサービス等を自ら選択できる人材を育成するため、金融リテラシー教育を全校で実施
- ・高度な職業資格の取得を支援し、産業教育を充実
- ・優秀な外国人材を外国語指導助手専門員「ALTスペシャリスト」として配置し、英語イマージョン教育などを推進

### ◆全国初、「学びの多様化学校」を県立高校に設置 (1,200万円)【P8再掲】

### ◆～Chot GKI～ちょっと「玄海の家」に行ってみよう！大作戦の実施(900万円)

- ・少年自然の家「玄海の家」において、不登校児童生徒の社会的自立を支援するため、自然体験や共同活動ができる環境を整備

### ◆不登校児童生徒の早期発見・早期支援 (2,400万円)【2月補正 5,000万円】

- ・学校内外で支援を受けられていない不登校児童生徒に対し、市町村教育支援センターが訪問支援や保護者からの相談対応を行う実証を実施
- ・小中学校における一人一台端末を活用した健康観察アプリ導入に向けた実証を実施
- ・小学校において不登校児童の学習支援や教育相談を行う、不登校児童支援員の配置を支援

### ◆こどもたちが世界に触れ成長する「世界少年野球福岡大会」を開催(4,000万円)

- ・世界各国・地域と本県のこどもたちが野球を通じて交流し、国際感覚を高める「第30回世界少年野球大会福岡大会」を開催



<第29回世界少年野球大会福島大会>

Q 「英語イマージョン教育」とは何ですか？

A 英語以外の教科の授業を英語を使用して実施することです。

### ◆県内全域で博多青松高校の通信制課程を履修できる環境を整備(5,400万円)【P8再掲】



<少年自然の家「玄海の家」>



<博多青松高校>

### ◆特別支援学校生徒の希望する進路を実現 (1,600万円)

- ・児童生徒や保護者を対象に、外部専門家による進路サポートセミナーや就職ガイダンスを実施
- ・生徒のニーズに応じた就職先を開拓する就職支援サポーターを特別支援学校に配置

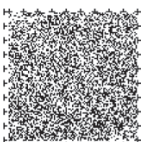
### ◆バンコク都と連携し、起業家精神を持つ「アントレプレナーシップ人財」を育成(700万円)

【P10再掲】

## 経済成長を支える人づくり

### ◆成長産業等で活躍するテクノロジー人材を育成(7,500万円)【P10一部再掲】

- ・新たにIT自動車科を設置する八女工業高校に燃料電池自動車の実習環境を整備し、即戦力人材を育成
- ・「宇宙」をテーマに、先端技術や県内企業の魅力を中高生が学ぶ「テクノロジー人材創生塾」を開催



### ◆実践的な研修により半導体中核人材を育成 (800万円)

- ・大学との連携により、「福岡半導体リスクリングセンター」に実機を使った実習講座を導入し、設計から製造、評価までを一貫して見渡せる半導体中核人材を育成

### ◆観光の担い手となる人材を育成・確保 (3,500万円)

- ・市町村や観光関連団体が推薦する地域観光のリーダー候補に対し、九州産業大学が実施する人材育成プログラムの受講料の全額を助成
- ・宿泊事業者に対し、インターンシップの導入を支援するとともに、県内外の学生や転職希望者を対象とした合同会社説明会を東京・福岡で開催
- ・宿泊施設従業員を対象に、おもてなし研修を実施



<福岡半導体リスクリングセンター>

### ◆即戦力となる農業人材を育成・確保 (4,200万円)

- ・JAトレーニングファームにおける実践研修用のハウス整備を支援するとともに、スマートグラスを用いた匠の技術伝承研修等を実施し、次世代の担い手を育成
- ・農繁期の異なる北海道から、外国人労働者を本県の園芸農家に受け入れるための住宅確保等を支援

## いきいきと輝く人づくり

### ◆女子中高生のキャリアデザインを応援 (600万円)

- ・女子中高生が柔軟な発想と幅広い視野で将来のキャリアを考えられるよう、様々な分野で活躍する先輩女性とのトークライブや、日本をけん引する女性リーダーを招いたフォーラムを開催

### ◆働く場における女性の活躍を推進(7,800万円)

- ・働く女性の交流の場「福岡キャリア・カフェ」の出張カフェを北九州、筑後、筑豊地区で開催
- ・「ママと女性の就業支援センター」を開設し、子育て中の女性や非正規・求職中の女性に対し、アドバイザーやキャリアコンサルタントがきめ細かな就業支援を実施

### ◆女性の起業を促進(200万円)

- ・起業を目指す女性や創業間もない女性を対象に、出産子育てとの両立などの相談に対応する「女性の起業サポートデスク(仮称)」を開設するとともに、先輩起業家と交流できる「女性起業家育成ネットワーク(仮称)」を設置

### ◆障がいのある人の就労を促進(5,500万円)

【P10一部再掲】

- ・重度障がいのある人の社会参加と就労を促進するため、分身ロボットを活用した就労実証等を実施
- ・障がいのある人を雇用していない企業へコンサルティングを行うとともに、重度障がい、精神障がいのある人のための短時間求人開拓を行い、企業と求職者とのマッチングを実施

### ◆女性活躍に向けた企業の意識変革を促進 (1,700万円)

- ・企業経営層に対し、女性活躍に向けた若者の意見を動画で発信
- ・企業経営層や人事労務責任者を対象に、女性が働きやすい職場環境整備促進のための研修を実施



<福岡キャリア・カフェ>

### ◆働きたい高齢者への支援を強化 (1,800万円)

- ・生涯現役チャレンジセンターのWebサイトを改修し、高齢者の求職活動・社会参加をインターネット上で支援

### ◆障がいのある人のアート作品の魅力を発信 (1,400万円)

- ・障がいのある人の収入向上を目指し、レプリカや画像データを販売
- ・障がいのある人のアート作品を紹介する「まごころアート FUKUOKA Gallery」を県庁ロビーに整備するとともに、市町村等と連携した展示会を開催

## 社会を支える人づくり

### ◆在宅医療・介護従事者の安全確保を支援 (3,200万円)

- ・在宅医療・介護サービス利用者等からの暴力・ハラスメントに適切に対応するため、マニュアルの作成や研修を実施するとともに相談窓口を開設
- ・暴力・ハラスメントのおそれがある利用者宅への訪問同行者の費用を支援
- ・利用者宅にて身の危険を感じた際に、外部にSOSを発信するために必要な機器導入を支援

### ◆地域公共交通の人材を確保(1,700万円)

【2月補正 1億3,200万円】【P8再掲】

### ◆保育士配置改善支援事業費補助金の創設 (500万円)

- ・国基準に基づく保育士の配置改善に対応するまでの間、短時間勤務の保育士確保を支援

### ◆「物流の2024年問題」に対応するトラック運送事業者を支援[2月補正 6億200万円]【P8再掲】

### ◆外科医確保のための遠隔手術指導を支援(2,300万円)【P8再掲】

